

あなたに代わって支援する 葬送・納骨



一般社団法人「ささやかなお葬式を考える会」
全国相続協会相続支援センター松本新町 仏事 相続 相談室
蔵エントープライズ
代表 板倉富男

核家族の行き着く先

前回、核家族の行き着く先は
独居老人であるとお話しました。
また、「生存中の孤立状態への対
応は迫る問題である」との日本政
府の認識もお伝えしました。
いま、核家族化に起因する相談

は本当に増えています。「二人暮ら
しで、この先を考えるとどうした
らよいのか」「夫婦二人で暮らして
いたが、連れ合いが病に侵され入
院した」。過去には「家族が眠れな
くて」という相談も受けました。

実際の事案より

平成19年秋、当時67歳の
女性から「眠れない日々が続いてい
る」との電話を受け伺いすると、
床の間に白い包みが二つ置いてあり
ました。

「実は、眠れないのは主人と子供
たちでした」

聞けば、白い包みはご主人と二
人の子供の遺骨でした。

四人家族のこの一家は、長男の
病氣治療で信州へ移り住むも、治
療の甲斐なく亡くなられ、その後
ご主人も病氣になり、さらにそん
な中、水難事故で次男も亡くなっ
てしまいます。

子供二人の供養は主人が元気に
なつてから。夫婦でそう決めていた
のですが、ご主人もその三年後に
亡くなられてしまいます。

奥様はお寺に相談しました。し
かし、かなりの高額なご提示があ

り、頼る身寄りもなく、もうどう
したらよいかわからない。そんな内
容の相談でした。

もちろん、今は全て解決してい
ます。適度な条件を満たす合祀
墓を探し出し、親子二人のご安
置は無事終了しています。奥様は
人が変わったように元気になり、
地域のサークル活動に積極的に関
加し、今も健やかに過ごさして

目を背けず、 未来について考える

他人に代わっての葬送並びに納
骨は簡単にできるものではありません。
だからこそ、元気なうちに自
分でできる最大限の準備をしてお
くことが大切になってきます。自
分のお骨の処理もその一つです。

こういった準備は、この長寿社
会を生き抜くための生活の知恵も
得られますし、若者に理解され協
力される高齢時代の礎にもなる
と思います。

準備に早すぎることはありません。
まずは知識を身につけ、ライフ
プランを考えるだけでも考えてみて
はいかがですか。

誰でもささやかなお葬式を出せるように、協力し、助け合うことを目的とする会をつくりました。

より自分らしく生きていくために。

- ◆ 家族葬
- ◆ エンディングノート
- ◆ 生前・遺品整理
- ◆ 遺言書の書き方
- ◆ 永代供養墓
- ◆ 相続手続き

グループ相談会も承っております。
3~4人で友達と一緒に話が聞ける
と好評です。訪問相談も行っています。
詳細はお問合せ下さい。



専門アドバイザー
板倉富男

無料相談予約受付は、

午前10:00~12:00
午後13:30~17:00

まずは、お電話をどうぞ!